

上方落語

笑福亭生喬

古今亭菊之丞

江戸落語

桂雀々

東と西の落語

ふつたり寄つたり競演会

柳家権太楼

柳家さん光

開口一番
私が務めさせて
いただきます

待ってました!人気実力兼お備えた噺家4人の夢の競演
観て、聴いて、笑って、笑う門には福来る!!

2020年9月26日(土)

開場 / 12時45分
開演 / 13時30分

帯広市民文化ホール小ホール
帯広市西5条南11丁目48番地2

チケット

2,500円(税込) 全席自由

チケット発売日

2020年7月27日(月)

チケット取扱い

帯広市民文化ホール「チケットらいぶ」、芽室町中央公民館、音更町文化センター、幕別町百年記念ホール、勝毎サロン

※未就学児入場不可 ※車椅子席をご希望の方は、帯広市民文化ホールへお申し込みください。やむを得ぬ事情により、出演者等に変更が生じる場合があります。

ご予約・お問合せ / 帯広市民文化ホール ☎0155-23-8111 [火曜日休館]

公演を鑑賞の皆様へ
新型コロナウイルス
感染防止
ご協力をお願いいたします。

- ・当公演は自由席ですが、会場の収容人数(定員の制限)により、前後左右の席を1席ずつ空けています。
- ・ご来場時には、必ずマスクを着用してください。入場時に検温、手指の消毒をさせていただきます。
- ・保健所等の公的機関の連絡先の情報を提出することもありますので、チケットの裏面に名前、連絡先電話番号をご記入の上、ご来場ください。



HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION
公益財団法人 北海道文化財団

プログラム

開口一番
柳家さん光

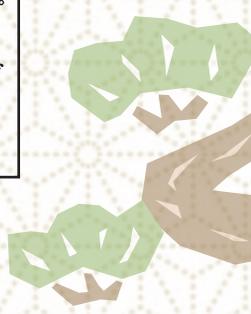
上方落語
笑福亭生喬

上方落語
桂 雀々

仲入り (休憩)

落語
古今亭菊之丞

落語
柳家権太楼




かつら 桂 雀々
 昭和52年 桂枝雀に入門
 ※上方は二つ目・真打の詳細 規定なし
 昭和61年 フジテレビ放送演芸大賞 新人賞受賞
 昭和62年 NHK新人演芸コンクール 落語部門最優秀賞受賞
 平成14年 上方お笑い大賞 最優秀技能賞受賞



やなぎ や こん た ろう 柳家 権太楼
 昭和45年 五代目柳家つばめに入門 前座名「ほたる」
 昭和49年 柳家つばめ世界の為、五代目柳家小さん門下となる
 昭和50年 二つ目昇進「さん光」に改名
 昭和57年 真打昇進 三代目「柳家権太楼」を襲名
 平成24年 芸術選奨文部科学大臣賞受賞 (大衆芸能部門)
 平成25年 紫綬褒章受章



しょう ふく てい せい きょう 笑福亭 生喬
 平成3年 六代目笑福亭松喬に入門
 ※上方は二つ目・真打の詳細 規定なし
 平成12年 第37回なにわ芸術祭 新進落語家競演会 新人奨励賞受賞



こん てい きくの じょう 古今亭 菊之丞
 平成3年 二代目古今亭圓菊に入門 前座名「菊之丞」
 平成6年 二つ目昇進
 平成15年 真打昇進
 平成29年 文化庁芸術祭賞 大衆芸能部門優秀賞受賞

発祥・特徴
 上方落語は盛り場の辻で、行き交う人を呼び止めて演じた「辻噺」を起源とするため、にぎやかな噺が中心になる。演出も派手で、演者の前に見台や膝隠しなどの道具を置き、小拍子を叩きながら演じることも。

落語家の階級
 真打制度はありません

言葉 関西弁

道具 扇子・手ぬぐい・見台(けんだい)・ひざ隠し・小拍子

東と西の落語は、
 ありな違いが
 あります



発祥・特徴
 江戸落語は商家や武家の座敷に呼ばれて演じるという「座敷噺」の形で発達したため、じっくりと聴かせる噺が多い。

落語家の階級
 見習い→前座→二つ目→真打ち

言葉 江戸弁

道具 扇子・手ぬぐい





やなぎ や こう 柳家 さん光
 平成21年 柳家権太楼に入門 前座となる 前座名「おじさん」
 平成25年 二つ目昇進 「柳家さん光」と改名